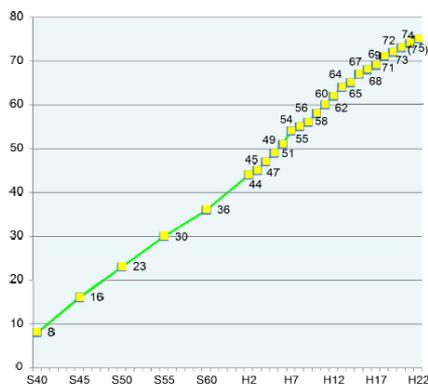


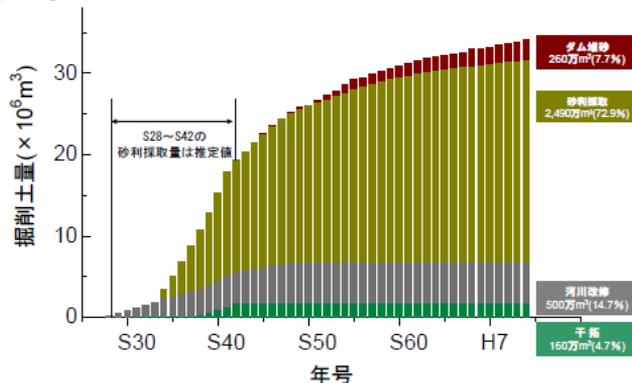
図-1 アサリ漁獲量の推移
(福岡県, 佐賀県, 長崎県および熊本県抜粋⁵⁾)

下水道普及率の推移



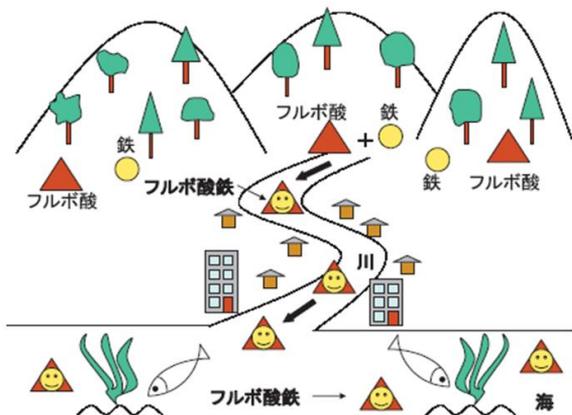
干潟に砂が供給されにくくなり、それに合わせてフルボ酸鉄の供給もダム・堰などによってストップされることによって、干潟における適切な環境が維持されなくなった。そのため、水質が改善されても貝類などが戻ってこない。

【資料1】



出典：福岡健二 (2005) 「有明海・八代海における河川の影響について (第13回評価委員会 (H17.4.21))」 第13回有明海・八代海総合調査評価委員会 資料3

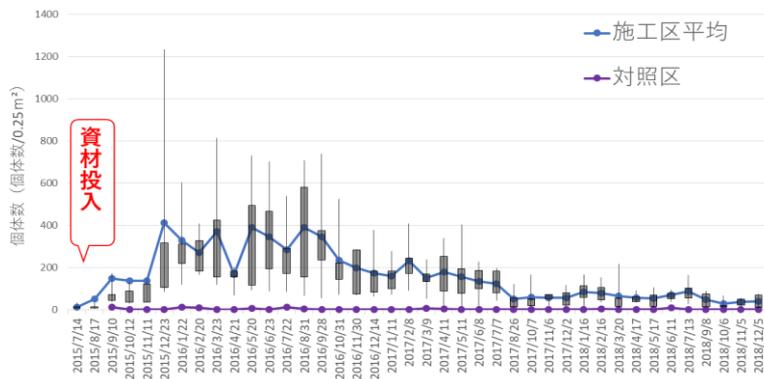
図1 河川からの土砂の持出し等



フルボ酸鉄の働き (イメージ図) 大分県資料より抜粋



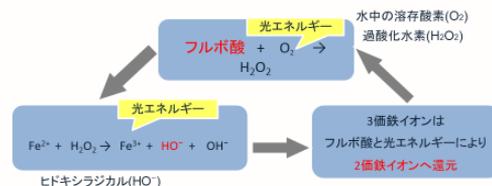
第1施工区 アサリ



フルボ酸鉄シリカ資材

- ・リサイクル原料(木クズ、下水汚泥、食品廃棄物)の発酵処理品とシリカ・鉄から成る製品を混合
- ・人工的に容易に、安価に製造可能
- ・シリカが含まれていることで赤潮抑制・二枚貝の斃死防止・ヘドロ化抑制効果がある

フルボ酸鉄による有機物の分解



ヒドロキシラジカルの強力な酸化作用により有機化合物を酸化分解することで底質の環境改善を図ることが出来る。

二枚貝減少の原因

要因

貧酸素化
食害
水質汚濁

底質のヘドロ化

土砂供給減少
海岸工事
赤潮の発生

**底質の浄化効果が期待されている
フルボ酸鉄シリカ資材に着目**

コドラート調査手法



0.5m × 0.5mコドラートの中の深さ10~20cmの泥をスコップで採取



4.75mm目の篩にかける



篩に残った生物を採取する

研究方法(砂泥干潟の熊本県長洲)

対象地：熊本県長洲町の長洲地先干潟

調査期間：2015年7月~2020年3月

調査方法：干潟を4か所の施工区と対照区に分け、

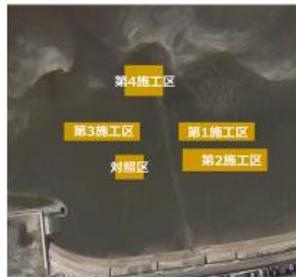
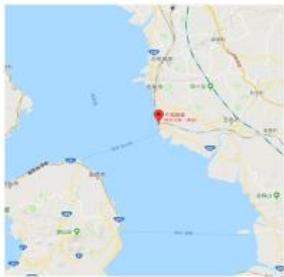
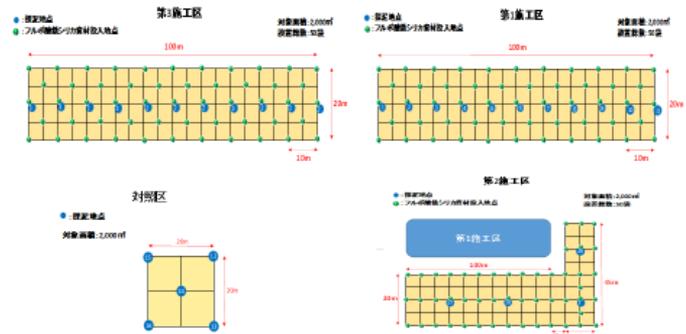
施工区に資材投入

対照区には資材は設置しない。

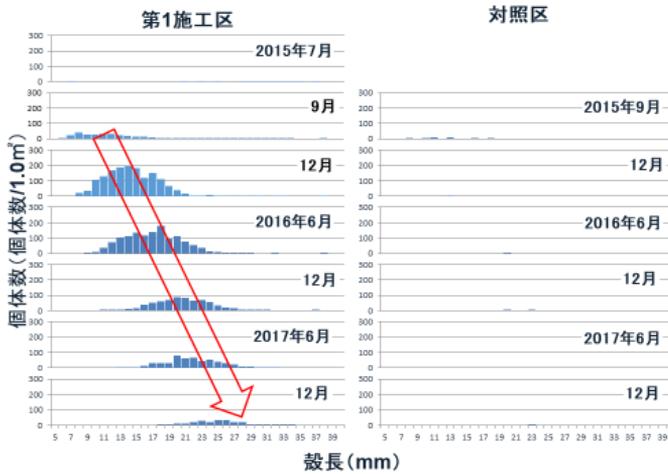
採取した貝を紙に並べて殻長と個数計測。

研究方法

長洲地先干潟の各施工区概要



コドラート調査の結果(アサリの殻長と個体数変化)



コドラート調査の結果(第1施工区の二枚貝種類別)

